

◎はじめにお読みください。

1. 本紙に記載された内容は製品の仕様、付属品の変更によって変更される場合がございます。
記載事項は正確を期すべく細心のチェックを行っていますが、内容の正確性については保証致しかねます。
当社は予告なしに内容を変更する権利を有します。
2. 本製品の耐荷重は開発時試験環境下での確認であり、使用時全ての状況での動作を保証するものではありません。
3. 本製品の組み立て、調節には付属品以外の工具が必要になる可能性がございます。
本紙内には付属しない製品の画像や用語を記載することがありますが、付属品については本紙の付属品欄に記載がある物のみとなります。
4. 組み立て時は素手ではなく滑り止め / 保護用の手袋を使用いただくことお勧めいたします。
5. 他社登録商標・商標をはじめ、本紙に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般的に各社の登録商標または商標です。

最後に、本製品をご購入いただきましてありがとうございます。
本マニュアルの最新版は弊社 HP の本製品ページに掲載されております。
右上の Ver をご確認の上、弊社 HP に掲載されている Ver の方が新しい場合は、そちらをご確認の上、組み立てを行ってください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐため必ずお守りいただくことを記載しております。

	危険	死亡または重傷を負う恐れが大きい内容です。
	警告	死亡または重傷を負う恐れがある内容です。
	注意	軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある内容です。
		気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
		してはいけない「禁止」の内容です。
		必ず実行していただく「強制」の内容です。

免責事項

お客様または第三者がこの製品の誤使用や使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた直接的、間接的損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き当社は一切その責任を負いませんので予めご了承ください。

サポート / 連絡先

販売元

株式会社 **アーキサイト**

〒110-0006

東京都台東区秋葉原 5-9 明治安田生命秋葉原ビル

URL：http://www.archisite.co.jp

サポートダイヤル：03-6859-0284

受付時間 10:00～12:00・13:00～17:00

(弊社指定定休日・年末年始・土日・祝祭日を除く)

警告

設置場所・壁面の条件：

- ・石膏ボードのみの壁には設置せず、必ず十分な強度がある壁面や、壁裏の「間柱」に固定してください。
- ・高温多湿、直射日光、油煙、振動の多い場所、屋外、温泉地などは避けてください。
- ・エアコンの近くや、不安定な場所への設置も厳禁です。

施工・作業のルール：

- ・耐荷重制限：耐荷重を超えるテレビは絶対に設置しないでください。
- ・専門業者への依頼：事故防止のため、取り付けは必ず専門業者に依頼してください。
ご自身で設置を行う場合は必要な機材と知識を得た上で自己責任で設置を行ってください。
- ・安全体制：作業は必ず 2 人以上で行い、周囲に十分なスペースを確保してください。
- ・電源の遮断：作業前に必ず電源プラグを抜き、コード類も全て外してください。
- ・怪我防止：部品やテレビの間に指などを挟まないよう手元の安全に注意してください。

部品・機材の扱い：

- ・手順の遵守：必ず付属部品を使用し、定められた手順通りに施工してください。
もし、付属部品だけでは設置ができない場合はご自身で代用部品をご購入いただき取り付けを行ってください。
- ・不良部品の禁止：サイズ違い、破損、錆のあるネジが確認できた際は絶対に使用しないでください。初期不良が確認できましたら弊社から無償で交換部品を手配させていただきます。
- ・改造禁止：本製品の改造や、他製品との併用、本来の目的以外での使用はしないでください。
- ・二人作業：安全のため、作業は必ず大人 2 名以上で実施してください。

配線・可動部の注意：

- ・コードの挟み込みや無理な牽引は、ショート・火災を招くため避けてください。
- ・可動範囲に人や物を置かないよう、身体を挟まないよう注意してください。

免責事項：

- ・取り付け不備や、機器の破損、データの損失に関する責任は一切負いかねます。
取り付け作業を行う際は念のためデータのバックアップを取ることをお勧めします。

設置不可な場所（事故・故障防止のため）

設置不可な場所（事故・故障防止のため）

- ・強度が足りない壁、傾いている壁、凹凸のある壁。
- ・屋外、高温多湿、油煙やホコリの多い場所。
- ・振動が激しい場所や、ドア・家具がぶつかる場所。
- ・エアコンの近くや天井、及び通風孔を塞ぐ位置。
- ・鉄柱や鉄骨への設置。

上記の場所に設置をした場合は、落下や破損、けが、火災、故障、感電など思わぬ事故の原因になります。

壁面の強度確保：

壁面はテレビと金具を合わせた荷重に長期間耐えられる必要があります。
具体的にはテレビ重量の 4 倍の負荷に耐える強度を確保してください。

芯材への固定：

荷重を確実に支えるため、必ず柱や梁などの強固な芯材（間柱）に固定してください。
芯材がない場所への設置は、強度不足による落下の危険があります。

外部振動への対策：

地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる設計・施工を行ってください。

適切な部材の使用：

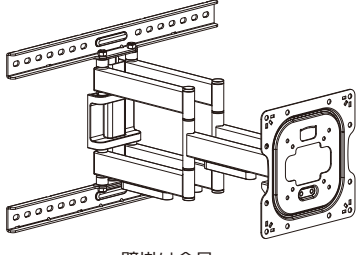
付属のボルト類が壁面の材質や強度に合わない場合は、無理に使用せず市販の適切なボルトやアンカーを別途用意してください。

取付工事業者様へ

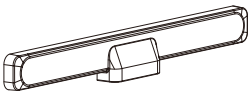
- ・施工にあたっては、組立説明書の内容を十分に把握した上で行ってください。
- ・安全性を確保するため、専門知識に基づいて壁面の構造を診断し、十分な強度が得られる最適な工法を選定してください。
- ・安全のため、設置作業は必ず大人 2 名以上の体制で実施してください。
- ・説明書に記載されているボルトや固定金具は、全て残さず確実に取り付けてください。
- ・取り付けミスや不適切な取り扱いによって生じた事故や損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・製品を取り外した際、壁面にネジ穴やアンカーの跡が残ることをあらかじめご了承ください。
- ・テレビの排熱や気流の影響により、長期間の設置で壁面が変色する恐れがありますのでご承知おきください。

設置後のご注意

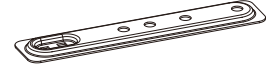
- ・定期点検と固定：
ボルトの緩みがないか確認してください。緩んだままの使用は落下の原因となります。
- ・禁止事項：
本体にぶら下がったり、コードを無理に引っ張ったりして過度な負荷をかけないでください。
- ・専門業者への依頼：
ボルトの調整、取り外し、移設作業などはお客様自身で行わず必ず専門業者へ依頼してください。
- ・異常時の対応：
異音やガタつきなどの異常を感じたらすぐに電源プラグを抜き、周囲に人が近づかないよう措置を講じてください。
- ・お子様への配慮：
事故防止のため、お子様が製品に触れたり遊んだりしないよう十分に注意してください。



壁掛け金具



固定ネジ穴カバー x2pcs



VESAアーム x4pcs



M6x12ネジ x4pcs



M6ナット x4pcs



レンチ 8-10mm



ネジ M6x14 x4pcs



ネジ M8x16 x4pcs



ネジ M6x30 x4pcs



ネジ M8x35 x4pcs



スペーサー D8 x4pcs



樹脂スペーサー Φ15xΦ8x5 x4pcs



樹脂スペーサー Φ15xΦ8x15 x4pcs



壁固定ネジ ST6.3x55 x6pcs

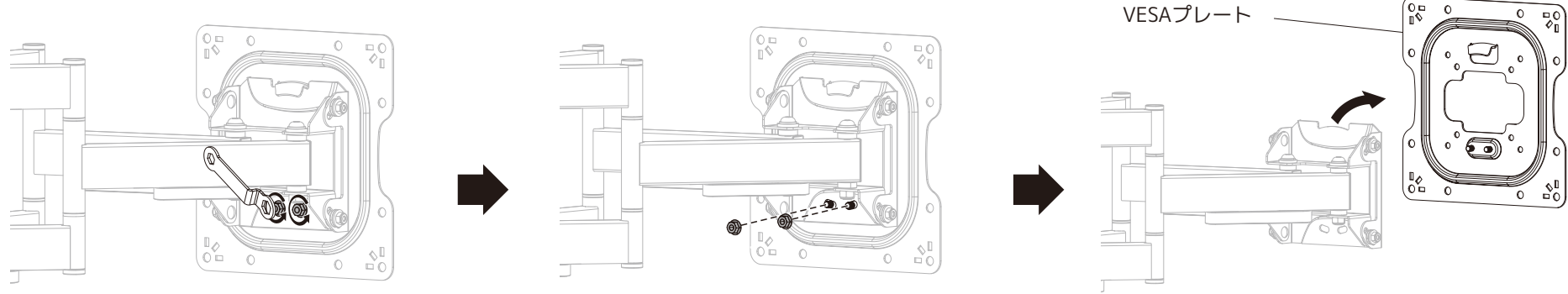


ワッシャー D6 x6pcs



アンカー Φ10x45 x6pcs

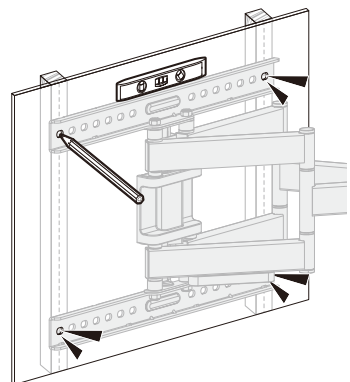
1

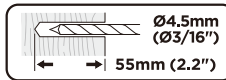
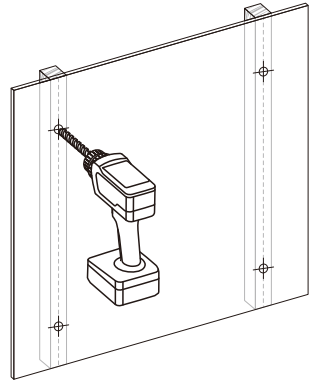


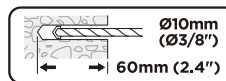
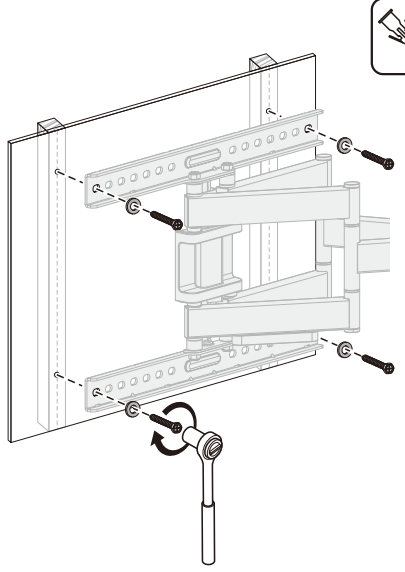
VESAプレート

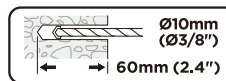
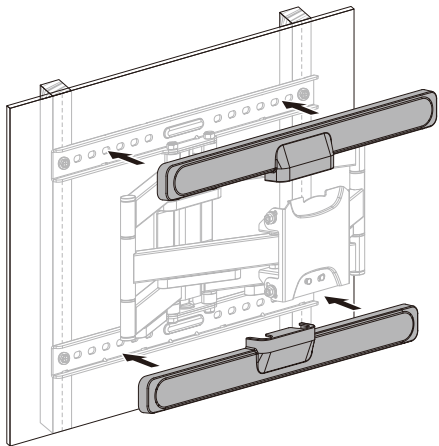
壁への取り付け作業前に上図を確認の上、VESA金具からVESAプレートを取り外してください。
取り外しは付属のレンチ 8-10mmを使用し、プレート背面のナットを取り外して分解をしてください。
※ネジ、ナットは組み立て時に再度使用するので捨てないように保管をしてください。

2





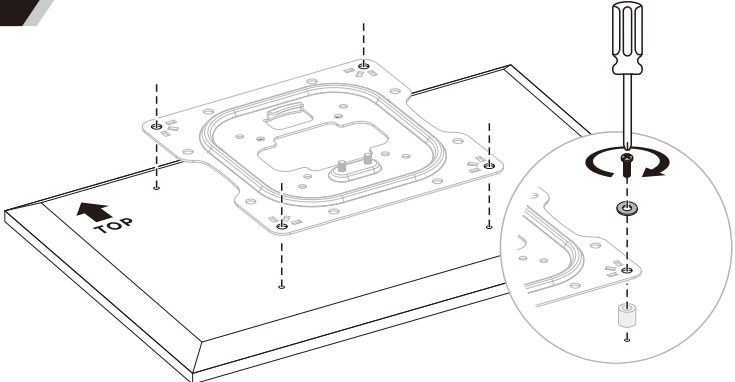




上図は石膏壁もしくはコンクリート壁に取り付ける際のイメージ図となります。
石膏壁に取り付ける際は下地センサーを使い、間柱を確認した後、取り付けたい場所に印をつけ水平を確認した後、直径4.5mm、深さ55mmの穴を電動ドリルで開けてください。
その後は、その穴に付属のワッシャー、壁固定ネジを使って壁掛け金具を固定をしてください。
コンクリート壁の場合も同様に取り付けたい場所に印をつけた後、水平を確認し、直径10mm 深さ60mmの穴を電動ドリルで開けてください。
穴を開けたらその穴にアンカーを打ち込み、アンカーに対して付属のネジで固定してください。
※アンカーが入りにくい場合はプラスチックまたはゴムハンマーでアンカーを打ち込んでください。

石膏壁の必要な壁の厚み	間柱：2本必要 間柱寸法：幅 30mm 以上 奥行 89mm 以上 ※取付ネジが 50mm 程度 間柱に固定されている事
コンクリート壁の必要な壁の厚み	厚み：150mm 以上

3



VESA 200x100 もしくは 200x200 のディスプレイを取り付ける場合

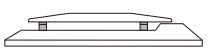
×


長すぎる

×


短すぎる

✓








ネジ M6x14
ネジ M8x16
スペーサー D8



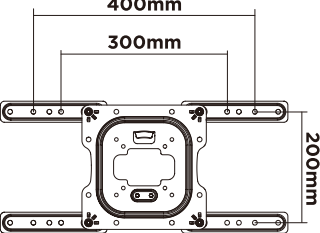
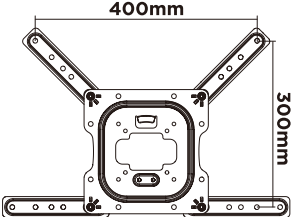
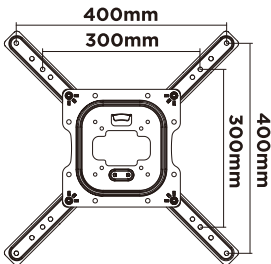


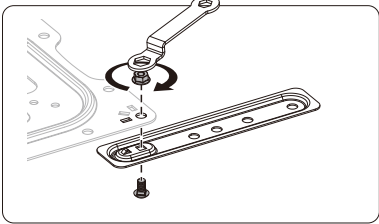
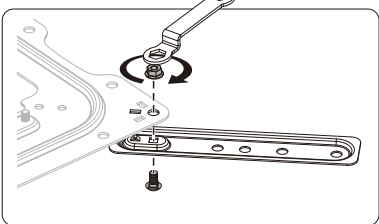

ネジ M6x30
ネジ M8x35
スペーサー D8
スペーサー Φ15xΦ8x5
スペーサー Φ15xΦ8x15

VESA 200x100か200x200のディスプレイを使用する場合は外したVESAプレートをそのまま取り付けてください。ご使用のディスプレイによって、ディスプレイを固定する際に使用するネジは使い分けてください。使用するネジはディスプレイの仕様をご確認ください。
使用するネジ長とディスプレイ側のネジ受け部分でネジが長すぎる、もしくは短すぎるといったことがないよう調節して取り付けてください。
ネジの選択を間違えると脱落やディスプレイの破損の原因となります。

4

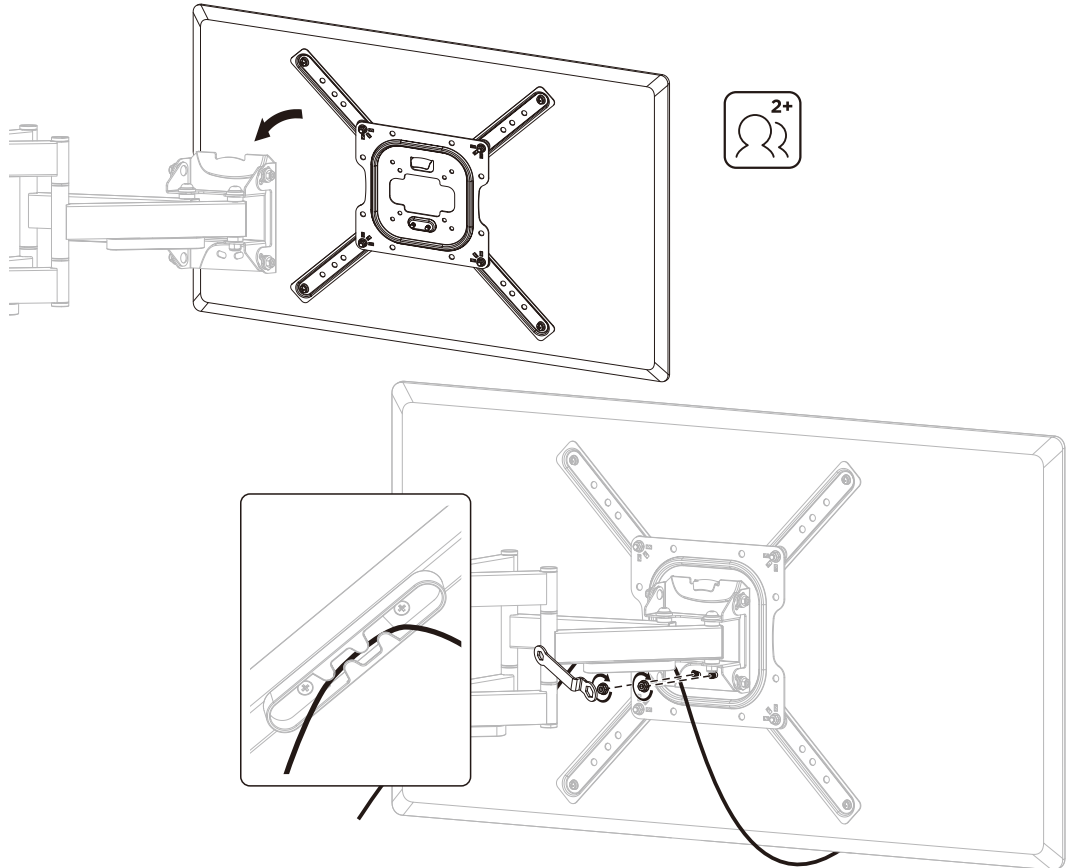
VESA 200x200 以上のディスプレイを取り付ける場合





VESA 200x200の以上のディスプレイを使用する場合は外したVESAプレートにVESAアームを固定して使用してください。上図を確認の上、使用したいVESAサイズに合わせてアームをM6x12ネジとM6ナットを使用して取り付けてください。※ネジ/ナットはしっかりと締めてください。
組み立てた後のディスプレイの固定に関しては3.と同じようにご使用のディスプレイに合わせてネジやスペーサーを選択し、取り付けてください。
使用するネジ長とディスプレイ側のネジ受け部分でネジが長すぎる、もしくは短すぎるといったことがないよう調節して取り付けてください。
ネジの選択を間違えると脱落やディスプレイの破損の原因となります。

5



ディスプレイとVESAプレートの固定が終了したら、2.で壁に取り付けた金具に引っ掛けた後、1.で取り外したネジとナットを再度取り付けVESAプレートと金具を固定してください。
※本作業は必ず2名以上で行ってください。

ディスプレイが希望の位置で固定されない場合は VESA プレート横のネジを締めてください。